

《担当者名》○山田 律子[rich@hoku-iryo-u.ac.jp] 木浪智佳子[kinami@hoku-iryo-u.ac.jp] 濱田 淳一
[jun1hamada@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

臨床実践における質の向上のために、研究の基礎知識および研究倫理について学んだ上で、研究課題の明確化から公表に至るまでの一連の研究プロセスについて学ぶ。特に、研究する上で不可欠な文献クリティークは演習を通して修得する。

【学修目標】

- 1) 研究の意義と目的、研究の基本要素について説明できる。
- 2) 研究実施における倫理的な配慮と研究倫理について説明できる。
- 3) 先行文献の検討を通して、研究課題の明確化をはかる方法について説明できる。
- 4) 研究課題に応じた研究方法論の選定について説明できる。
- 5) 研究計画書・論文の作成方法について説明できる。
- 6) 研究論文の公表の意義と効果的な発表方法について説明できる。
- 7) 研究する上で不可欠な文献クリティークを適切に実施できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	研究の意義と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・臨床実践の質向上のための研究とは ・臨床で活用される研究とは ・研究に求められる科学性、客観性とは 	山田
2 }	研究における倫理的配慮と研究倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・研究倫理の変遷と研究倫理指針 ・研究に伴う倫理的問題、Research misconduct(特定不正行為)と研究倫理 ・研究実施における倫理的配慮と手続き ・倫理審査書類作成上の留意点 	濱田
3			
4	研究の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・概念・モデル、基盤となる理論 ・研究課題と研究の種類・内容 ・研究論文の構成 	山田
5	研究プロセス 研究課題と概念枠組みの明確化 研究計画書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・研究課題と研究疑問の明確化 ・概念枠組みの明確化と作成方法 ・研究計画書の意義と作成方法 	山田
6 }	研究プロセス 先行文献の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・文献検索法と整理法 ・文献クリティークの視点と方法 ・システムティックレビュー 	木浪
7			
8 }	研究プロセス -1 研究方法の選定：量的研究方法	量的研究の種類と概要 <ul style="list-style-type: none"> ・疫学研究法、実験・準実験研究、RCT ・調査研究の実際：調査の枠組みとプロセス、データ分析方法 ・測定用具(尺度)の信頼性・妥当性、吟味と選定 	山田
9			
10 }	研究プロセス -2 研究方法の選定：質的研究方法、混合研究法	質的研究の種類と概要 <ul style="list-style-type: none"> ・KJ法、内容分析、グラウンデッド・セオリー・アプローチ、現象学的アプローチ、アクション・リサーチ ・混合研究法(量的方法と質的方法の併用) ・質的研究法を用いる意義と活用例 	木浪
11			
12 }	研究プロセス 研究論文の作成から公表まで	<ul style="list-style-type: none"> ・研究論文の作成方法、図表作成のコツ ・研究論文の評価、評価基準 ・抄録、Abstractの作成方法 ・研究公表の意義、効果的な発表方法 	山田
13			
14 }	文献クリティークの実際(1~2G)	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで選定した論文2本を文献クリティーク ・文献クリティークの実際を経て学んだクリティークする上で重要な視点について発表 	山田
15			
	文献クリティークの実際(3~4G)	・同上	木浪

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

提出物(60%)、討論への参加・発言(20%)、プレゼンテーション(20%)から総合的に評価する。

【参考書】

1. ポーリットD.F. & ハングラーB.P. / 近藤潤子(監訳)(2010). 看護研究 原理と方法. 第2版, 医学書院.
2. 南 裕子, 野嶋佐由美(編)(2017). 看護における研究. 第2版, 日本看護協会出版会.
3. アメリカ心理学会(APA) / 前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦訳(2011). APA論文作成マニュアル. 第2版, 医学書院.
4. 牧本清子編(2013). エビデンスに基づく看護実践のためのシステムティックレビュー. 日本看護協会出版会.
5. 山川みやえ, 牧本清子編(2020). よくわかる看護研究論文のクリティーク. 第2版, 日本看護協会出版会.
6. ブラウナーW.S. / 折笠秀樹(監訳)(2001). EBM医学英語論文の書き方・発表の仕方. 医学書院.
7. 石村貞夫, 石村光資郎(2021). SPSSによる統計処理の手順. 第9版, 東京図書.
8. 石村貞夫, 劉 晨, 石村友二郎, 加藤千恵子(2013). SPSSによるカテゴリカルデータ分析の手順. 第3版, 東京図書.
9. 中村好一(2020). 基礎から学ぶ楽しい疫学. 第4版, 医学書院.
10. 対馬栄輝(2016). SPSSで学ぶ医療系データ解析. 第2版, 東京図書.

【備考】

- 1) Zoomを利用して画面共有して授業を行う。質疑応答は、チャットやミュートを外してのリアルタイムで行う。グループ演習の際には、ブレイクアウトルームを活用する。
- 2) Google Classroomを活用して授業資料や課題を提示するほか、学生は指定期限までに課題レポートを提出する。
- 3) 出席や授業のフィードバックは、Google Formsを使用する。

【学修の準備】

- 1) 毎回、関連する文献を読んで授業に臨むこと。
- 2) 課題は授業で指定された期限までに、Google Classroomに提出すること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

<看護学専攻>

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

<臨床福祉学専攻>

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。